

私の生まれたこの村は、  
ずっと昔から養蚕が盛んです

蚕の幼虫さんから糸を  
もらって、それを紡ぐと  
綺麗な絹になるのです

## 神さまのお世話係

この村で育つ蚕さんたちが  
皆んな上質な糸を作れるのは、  
この村の神様、  
小石様の御加護のおかげです

小石様はとても優しい神様で、  
私たちが人間の生活のために  
そのお力を使ってくださります

私が七つになった頃、  
小石様は私をお屋敷に  
迎え入れて下さりました

それまでのことは  
よく覚えていません

繭

ここでの私の仕事は  
蚕さんを育てること

そして…

それが済んだら  
私の部屋において

は…はい

……これが一番  
大事なお仕事





悪くはないよ



ご加減は  
いかがですか



もっと奥まで  
啜えてくれると  
気持ち良いんだけど

んぐ……っ!!

すぽっ♡

だから私は、毎日  
小石様の“お世話”をします



小石様は蚕の神様なので  
人間がお世話をしないと  
死んでしまうそうです





今日はもういいよ  
下がりなさい

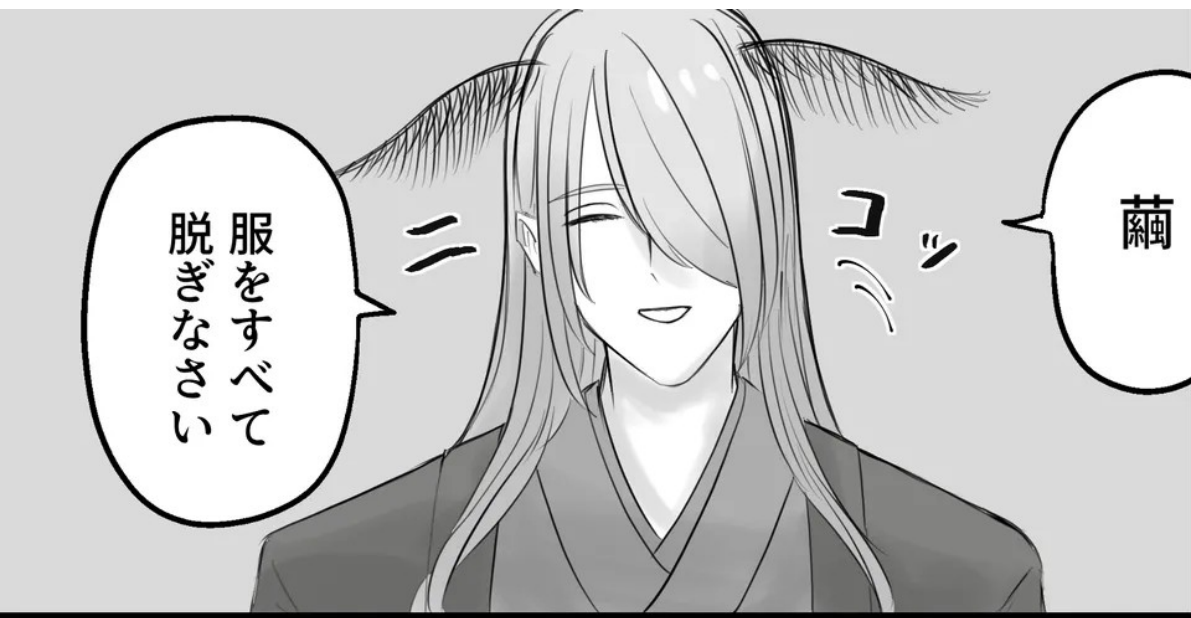
はい……

少し苦くて喉に絡みつく  
この液体は、小石様からのお恵みです

この液体を全部  
飲み込むまでが  
小石様の「お世話」です

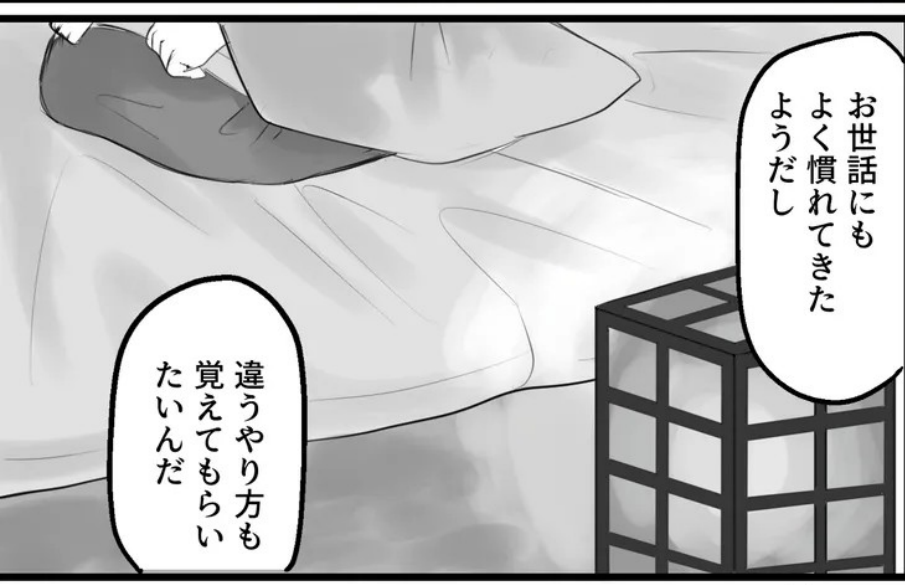
んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ



服をすべて  
脱ぎなさい

繭

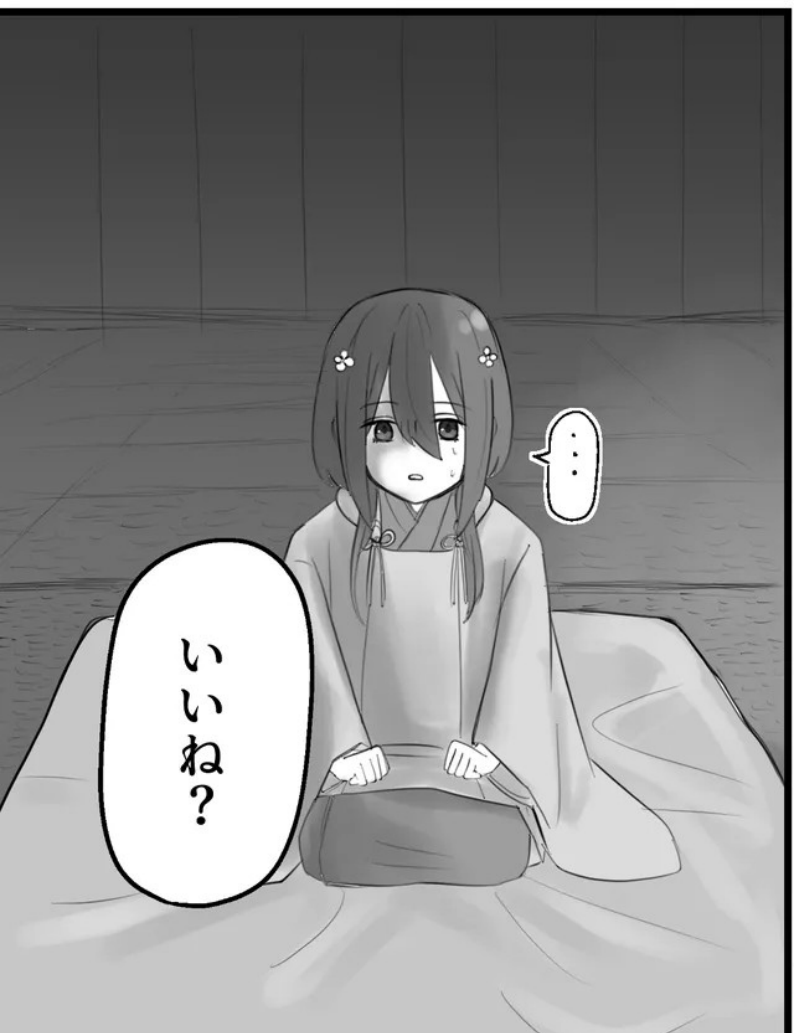


お世話にも  
よく慣れてきた  
ようだし

違うやり方も  
覚えてもらい  
たいんだ



……え

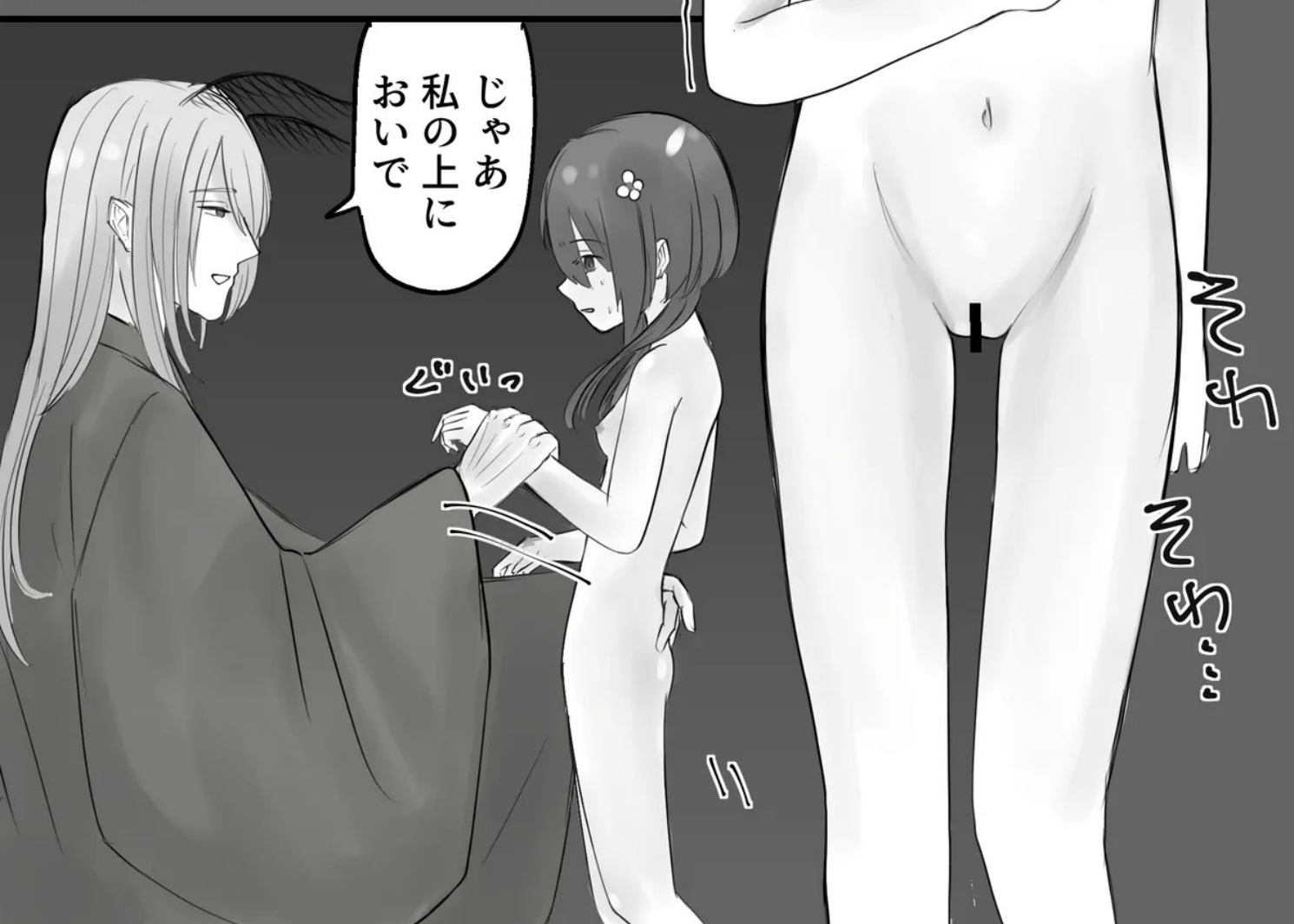
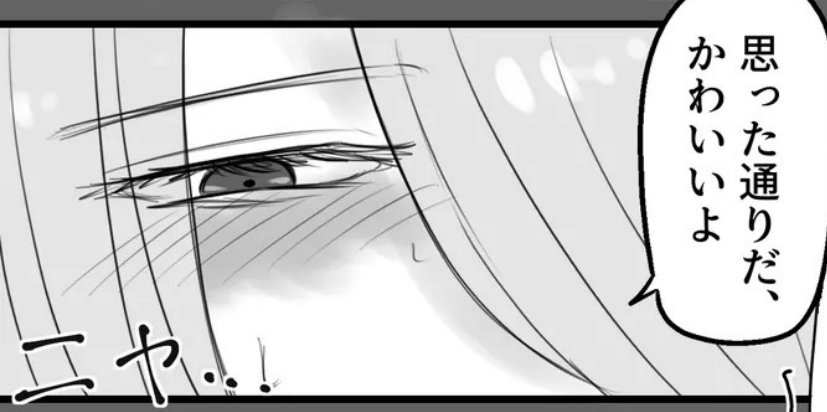


いいね？

…



繭にしか  
頼めない  
ことだから





今日は  
繭のここに  
挿入れようかな

え？

とっ♡  
さゆ



小石様、  
何を...

さゆ...



うあっ...!!

ふふ、  
初めてなのに  
よく入ったね

狭い膣が  
強く締め付けて  
くれてるよ



胎の中にたっぷり  
私の子種を受け入れて  
もらうからね



繭は今から  
ここを使って  
私のお世話をするんだ

ズリッ  
ぬちゅ...



泣いてばかりいないで  
繭も気持ちよく  
なりなさい

ほら

はあ♡

はあ♡

はあ♡

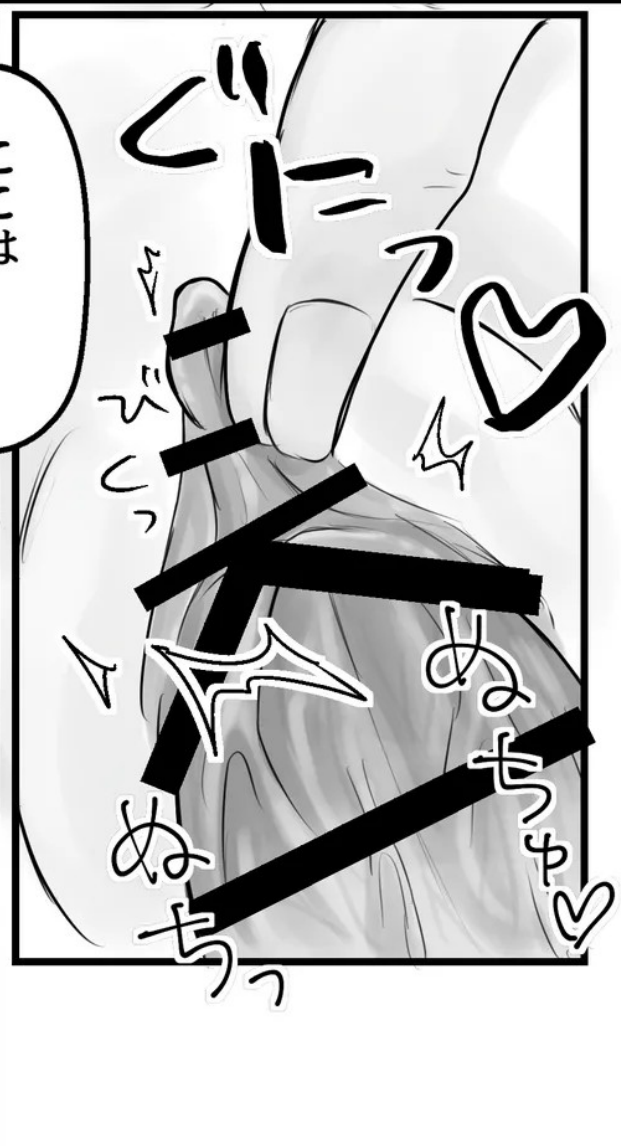
はあ♡

かきまっ

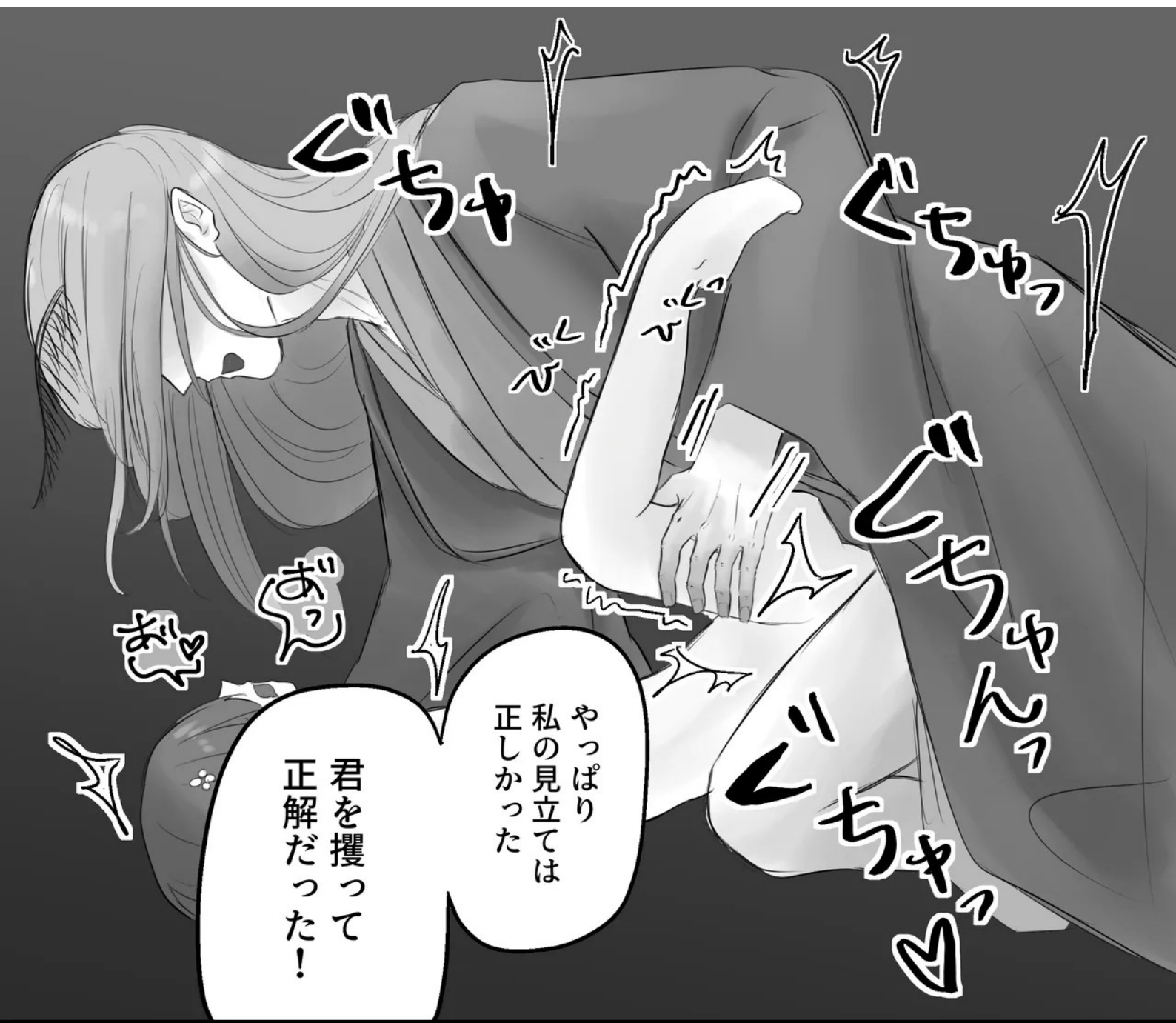
ずん♡



ここは  
どうかな？







君を攫って  
正解だった！

やっぱり  
私の見立ては  
正しかった



もう限界だ

君の中に  
子種を注ぐよ

はぁっ♡

はぁっ♡

びちゃ♡

びちゃ♡



お♡

孕めっっ!!!

あぁあぁあ  
出るっっ!!

お♡

お♡

びやびやびや

びやびや

びや

ズンズン

ズンズン

ズン

ズンズンズン

ズンズンズン

お♡

お♡



やっぱり  
口だけよりも  
気持ち良いね

少し激しく  
しすぎたかも  
しれないけど



小石様は蚕の神様なので  
人間がお世話をしないと  
死んでしまうそうです

まあいいか

明日からも  
頼むよ



はい、  
小石様

……神様がそう  
仰るのですから、  
人間の私は  
従うしかありません